

23	オリンピック・パラリンピック準備局	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の準備
事業概要	<p>オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界最大のスポーツの祭典であるだけでなく、開催都市の社会や文化にも大きな変革をもたらす一大イベントである。</p> <p>東京2020大会は、東京再浮上の起爆剤となり得る大きな力を持っており、成熟都市東京が更に躍進を遂げるための絶好の機会となる。大会の成功はもとより、この大会開催を契機に、東京が抱える様々な課題解決を加速させ、世界一の都市・東京を実現していく。</p> <p>東京2020大会開催に向けて、オリンピック・パラリンピック準備局は、庁内各局、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）、公益財団法人日本オリンピック委員会及び日本パラリンピック委員会をはじめとしたスポーツ界、国、自治体、経済界などとの連携を一層強化し、着実に準備を進めている。</p>	
これまでの経過	<p>平成25年9月7日</p> <p>平成26年1月24日</p> <p>平成26年3月19日</p> <p>平成26年6月10日</p> <p>平成26年9月～12月 平成26年11月19日</p> <p>平成26年11月26日</p> <p>平成26年12月19日 平成27年1月1日</p> <p>平成27年1月12日 平成27年2月27日</p> <p>平成27年2月27日 平成27年3月5日</p> <p>平成27年6月5日 平成27年6月9日</p> <p>平成27年7月22日</p> <p>平成27年7月24日</p> <p>平成27年7月30日</p> <p>平成27年8月25日</p>	<p>第125次国際オリンピック委員会（以下「IOC」という。）総会において東京が「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市」に選定</p> <p>一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会設立</p> <p>2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第1回）</p> <p>平成26年第二回都議会定例会において、知事が会場計画の再検討を表明</p> <p>1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業 オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会において、知事が会場計画の再検討の結果を報告</p> <p>2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第2回）</p> <p>「選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプラン」の公表 組織委員会が一般財団法人から公益財団法人へ移行</p> <p>東京2020オリンピック競技大会2020日前イベント開催 組織委員会がIOC・国際パラリンピック委員会（以下「IPC」という。）へ大会開催基本計画提出</p> <p>東京2020オリンピック18競技の会場決定 東京2020パラリンピック競技大会2000日前イベント開催</p> <p>「新規恒久施設に係る後利用の方向性」の公表 東京2020オリンピック8競技の会場決定（2月の決定分と合わせて26競技の会場が決定）</p> <p>2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第3回）</p> <p>東京2020オリンピックカウントダウンイベント「みんなのTOKYO 2020 5 Years to Go!!」開催</p> <p>第1回東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議</p> <p>東京2020パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのTOKYO 2020 5 Years to Go!!」開催</p>

平成 27 年 9 月 3 日	東京都ボランティア活動推進協議会（第 1 回）
平成 27 年 9 月 15 日	大井ホッケー競技場の施設配置計画変更を発表
平成 27 年 9 月 28 日	東京 2020 オリンピックの追加種目 5 競技 18 種目を IOC に提案
平成 27 年 10 月 6 日	アーチェリー会場及びテニス会場の配置計画変更
平成 27 年 10 月 9 日	都立競技施設整備に関する諮問会議（第 1 回）
平成 27 年 11 月 6 日	「大井ホッケー競技場に係る後利用の方向性」の公表
平成 27 年 11 月 13 日	東京 2020 パラリンピック 19 競技の会場決定
平成 27 年 11 月 17 日	I B C / M P C の配置計画変更
平成 27 年 11 月 20 日	「2020 年に向けた東京都の取組（素案）」公表
平成 27 年 11 月 25 日	東京自治会館を拠点とした多摩島しょにおける 2020 年大会に向けた事業推進を開始
平成 27 年 11 月 27 日	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会を設置
平成 27 年 12 月 1 日	新国立競技場の整備に係る財源案を合意
平成 27 年 12 月 9 日	東京 2020 オリンピック自転車競技会場決定
平成 27 年 12 月 22 日	「2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」を公表
平成 27 年 12 月 22 日	新国立競技場整備事業の優先交渉権者（事業者）決定
平成 27 年 12 月 22 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第 4 回）
平成 28 年 1 月 14 日	設計・施工一括発注技術提案型総合評価方式の結果公表 （オリンピックアクアティクスセンター、有明アリーナ、海の森水上競技場）
平成 28 年 1 月 27 日	新国立競技場の建設敷地に係る都有地（明治公園）の無償貸付決定
平成 28 年 1 月 30 日	「オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアシンポジウム」を開催
平成 28 年 3 月 31 日	都、大会組織委員会、国の 3 者において、費用負担の見直しについて合意
平成 28 年 3 月 31 日	東京 2020 大会に向けたボランティアのウェブサイト「東京ボランティアナビ」を開設
平成 28 年 4 月 16 日	東京 2020 パラリンピック 2 競技の会場決定
平成 28 年 4 月 25 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会公式エンブレム決定
平成 28 年 4 月 28 日	東日本大震災被災地復興支援映像「2020 年。東京と東北で会いましょう。」を発表
平成 28 年 5 月 2 日	NO LIMITS SPECIAL GINZA&TOKYO を開催
平成 28 年 5 月 25 日	「新規恒久施設の施設運営計画（中間のまとめ）」の公表
平成 28 年 5 月 31 日	クリス・ホームズ卿を招聘
平成 28 年 6 月 24 日	都立競技施設整備に関する諮問会議（第 2 回）
平成 28 年 6 月 28 日	都立競技施設整備に関する諮問会議（第 3 回）
平成 28 年 7 月 24 日	東京 2020 オリンピックカウントダウンイベント「みんなの Tokyo 2020 4 Years to Go!!」開催
平成 28 年 7 月 27 日	東京 2020 大会に向けた都内事前キャンプ候補地紹介用ホームページ「東京 事前キャンプガイド ～for2020」の開設
平成 28 年 8 月 3 日	オリンピックの追加種目（5 競技 18 種目）が IOC 総会で採択
平成 28 年 8 月 5 日	リオ 2016 オリンピック競技大会開幕（現地時間）
平成 28 年 8 月 24 日	オリンピックフラッグ到着歓迎式開催

平成 28 年 8 月 25 日	東京 2020 パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 4 Years to Go!!」開催
平成 28 年 8 月 25 日 平成 28 年 8 月～9 月	「NO LIMITS SPECIAL 大江戸ステーションスタジアム」開催 リオ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会において、「Tokyo2020 ジャパンハウス」を設置
平成 28 年 9 月 5 日	「東京 2020 ライブサイト in2016-リオから東京へ-」開催 リオ 2016 パラリンピック競技大会開幕（現地時間）
平成 28 年 9 月 7 日	東京 2020 パラリンピック 5 人制サッカー競技会場決定
平成 28 年 9 月 21 日	オリンピック・パラリンピックフラッグ掲揚式開催
平成 28 年 10 月 7 日	「リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレード」開催
平成 28 年 10 月～	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」を実施
平成 28 年 11 月 1 日	オリンピック・パラリンピック フラッグ展示コーナーのオープニングセレモニーを実施
平成 28 年 11 月 29 日	四者協議を開催（知事が海の森水上競技場、オリンピックアクアティクスセンターの新設とコスト縮減を表明）
平成 28 年 12 月 7 日	東京 2020 オリンピック追加種目（5 競技 18 種目）の会場決定
平成 28 年 12 月 15 日 平成 28 年 12 月 20 日	「東京 2020 大会に向けたボランティア戦略」策定 2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第 5 回）及び多言語対応・ICT 化推進フォーラムを開催
平成 28 年 12 月 22 日	有明アリーナの管理運営に関するヒアリングの実施を発表
平成 29 年 1 月 20 日	第 2 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議
平成 29 年 1 月 22 日	東京都ボランティア活動推進協議会（第 2 回） 「オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアシンポジウム～リオから東京へ～」を開催
平成 29 年 2 月～	「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の開始に先立ち、都庁舎での携帯電話等小型電子機器の回収を開始
平成 29 年 3 月 6 日	東京 2020 大会開催に伴う経済波及効果を公表
平成 29 年 3 月 14 日	「武蔵野の森総合スポーツプラザ」竣工
平成 29 年 3 月 17 日	東京 2020 オリンピック野球・ソフトボールの追加会場決定（福島あづま球場）
平成 29 年 3 月 24 日	「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」を公表
平成 29 年 4 月 6 日	武蔵野の森総合スポーツプラザの指定管理者の募集開始
平成 29 年 4 月 19 日	新規恒久施設の施設運営計画を策定
平成 29 年 5 月 6 日	NO LIMITS SPECIAL 2017 上野を開催
7 日	
平成 29 年 5 月 18 日	第 3 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議
平成 29 年 5 月 31 日	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会（第 2 回）を開催 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の役割（経費）分担に関する基本的な方向について」合意

平成 29 年 6 月 5 日	輸送運営計画 V 1 を策定
平成 29 年 6 月 9 日	第 1 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通輸送技術検討会を開催
平成 29 年 6 月 9 日	東京 2020 大会選手村の 3 R の取組アイデアの募集開始
平成 29 年 6 月 9 日	東京 2020 オリンピック競技大会の種目決定 (28 競技 321 種目)
平成 29 年 6 月 22 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会 (第 6 回)
平成 29 年 7 月 4 月	2017 多言語対応・ICT 化推進セミナー ～ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて～を開催
平成 29 年 7 月 10 日	東京 2020 オリンピック競技大会のサッカー会場決定 (茨城カシマスタジアム)
平成 29 年 7 月 24 日	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーフェスティバル～みんなの Tokyo 2020 3 Years to Go!～」開催 「みんなでラジオ体操プロジェクト」キックオフイベント
平成 29 年 7 月～	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」の全国展開を開始
平成 29 年 8 月 25 日	「あと 3 年で開幕!!!東京 2020 パラリンピックカウントダウンイベント～みんなの Tokyo 2020 3 Years to Go!～」開催
平成 29 年 8 月 28 日	「有明アリーナの管理運営に関する基本的考え方」の公表
平成 29 年 10 月 28 日	東京 2020 オリンピックカウントダウンイベント「みんなの Tokyo 2020 1000 Days to Go!」を開催
平成 29 年 11 月 25 日	武蔵野の森総合スポーツプラザ開業
平成 29 年 11 月 29 日	東京 2020 パラリンピックカウントダウンイベント「みんなの Tokyo 2020 1000 Days to Go!」開催
平成 29 年 12 月 6 日	東京 2020 オリンピック新種目等 (3 競技 8 種目) の会場決定
平成 29 年 12 月 25 日	有明アリーナ管理運営事業実施方針の公表
平成 30 年 1 月 10 日	第 2 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通輸送技術検討会を開催
平成 30 年 1 月 19 日	第 4 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議
平成 30 年 1 月 21 日	「東京 2020 大会に向けたボランティアシンポジウム～ボランティアの本質を探る～」を開催
平成 30 年 1 月 30 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会 (第 7 回) 及び多言語対応・ICT 化推進フォーラムを開催
平成 30 年 2 月 3 日	東京 2020 オリンピック 2 競技の会場変更
平成 30 年 2 月 9 日	熊本地震被災地復興支援映像「2020 年。東京と熊本で会いましょう。」を公表
平成 30 年 2 月～3 月	平昌 2018 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会において、「Tokyo2020 ジャパンハウス」を設置 「東京 2020 ライブサイト in 2018」開催
平成 30 年 3 月 7 日	東京 2020 パラリンピック自転車競技 (ロード) 会場決定
平成 30 年 3 月 9 日	「東京 2020 大会における都市運営に係る基本方針」の策定 「東京 2020 大会の安全・安心の確保のための対処要領」(第一版)の公表
平成 30 年 3 月 18 日	「IDEA for TOKYO コンテスト」を開催
平成 30 年 3 月 28 日	都市ボランティア募集要項 (案) 公表

1 役割（経費）分担に関する基本的な方向について
 平成 29 年 5 月に開催された「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会（第 2 回）」において、東京都、国、組織委員会及び競技会場が所在する自治体は、役割分担及び経費分担に関する基本的な方向について合意をした。
 また、9 月には東京都、国、組織委員会により「共同実施事業管理委員会」を設置。大会経費のうち、組織委員会が東京都、国等の関係者が負担する資金を使用して実施する事業について、コスト管理と執行統制の強化等を図るとともに、事業の実施状況を確認し、適切な執行を推進している。

2 競技会場等の整備
 東京 2020 大会で使用する競技会場等のうち、東京都は新規恒久施設等の整備（オリンピックスタジアムを除く。）及び後利用の検討、既存都立施設の改修を担当している。
 大会開催に向け、着実な整備を進めるとともに、平成 29 年 4 月に「新規恒久施設の施設運営計画」を公表するなど大会後も新規恒久施設を都民、国民の貴重な財産として有効活用していく。
 選手村については、平成 27 年 12 月に策定した「2020 年に向けた東京都の取組」で示した「誰もがあこがれ住んでみたいと思えるまち」とするため、民間事業者の活力とノウハウを活用しながら整備を進めている。

- (新規恒久施設)
- ・オリンピックアクアティクスセンター
 - ・海の森水上競技場、
 - ・有明アリーナ
 - ・カヌー・スラローム会場
 - ・大井ホッケー競技場
 - ・アーチェリー会場（夢の島公園）

新規恒久施設等の整備状況

会場名	スケジュール					
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)
オリンピックアクアティクスセンター	基本設計委託	実施設計・工事				
海の森水上競技場	基本設計委託	実施設計・工事				
有明アリーナ	基本設計委託	実施設計・工事				
カヌー・スラローム会場	基本設計委託	実施設計委託	工事			
大井ホッケー競技場	基本設計委託	実施設計委託	工事			
アーチェリー会場(夢の島公園)	盛土工事委託	盛土工事	施設設計委託	施設工事		
有明テニスの森	基本設計委託	実施設計委託	工事			
武蔵野の森総合スポーツプラザ	工事					

テストイベント

オリンピック・パラリンピック競技大会

※平成29年4月時点

3 大会運営

(1) ボランティア

東京 2020 大会のボランティアには、大会運営を支える大会ボランティアと主要駅や観光地などで観光・交通案内を行う都市ボランティアがあり、大会ボランティアは組織委員会が、都市ボランティアは東京都が運営を行う。東京 2020 大会の成功に向けて、ボランティア活動の推進や、ボランティアへの参加気運の醸成・裾野拡大のため、平成 27 年度、「東京都ボランティア活動推進協議会」を設置、平成 28 年 12 月には「東京 2020 大会に向けたボランティア戦略」を策定、平成 30 年 3 月には都市ボランティア募集要項（案）を公表したほか、シンポジウムやウェブサイトによる情報発信も行っている。

(2) 輸送

「輸送連絡調整会議」や「交通輸送技術検討会」の場を通じて、組織委員会とともに関係者間で輸送ルートの検討や調整を進めており、大会関係者及び観客・スタッフの安全・円滑な輸送と都市活動の安定を図るため、輸送方法等について検討している。

(3) セキュリティ

東京 2020 大会に訪れる全ての人の安全・安心を確保するため、治安対策・サイバーセキュリティ・災害対策・感染症対策の視点から各種事態を想定した「東京 2020 大会の安全・安心の確保のための対処要領」を策定し、これに基づく実践的な訓練を検討している。

また、国や組織委員会等との連携強化や役割分担の明確化により、官民一体となった安全・安心を担う危機管理体制の構築・充実強化について検討している。

4 事前キャンプ

事前キャンプは、各国の競技団体等が大会前に任意に行うトレーニングキャンプで、開催都市だけでなく開催国各地などで実施される。東京都は、誘致主体である都内区市町村に対し、誘致に参考となる情報提供、都内施設の PR や各国オリンピック・パラリンピック委員会等の視察受入れなど、積極的に支援を行っている。

平成 28 年 7 月には、都内の候補地等を PR するため、ホームページを開設し、情報発信を強化した。

5 多言語対応の推進

平成 26 年 3 月、東京都や国をはじめ、関係団体・機関で構成される「2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」を立ち上げ、表示・標識等の多言語対応に取り組み、外国人旅行者が円滑に移動し安心して快適に滞在できる環境整備を推進している。

6 パラリンピックに向けた取組

障害の有無に関わらず、すべての人々にとって利用しやすい施設となるよう、大会で使用する都立恒設競技施設について、大会時のバリアフリー化の指針である「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」を踏まえた整備を行っている。また、大会後も見据えた施設の使い勝手について障害者団体等から意見を聴取する「アクセシビリティ・ワークショップ」を設置し、聴取した意見や要望は可能な限り設計に反映させている。

また、パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を都内各地で開催し、パラリンピック大会の認知度向上と気運醸成を図っている。

	<p>7 大会開催気運醸成 東京 2020 大会の成功に向けて、都民・国民の盛り上がりは不可欠であるため、大会前から大会期間にかけて、組織委員会、庁内各局、都内区市町村、全国自治体等の関係機関と連携の上、フラッグツアーやカウントダウンイベント、「みんなでラジオ体操プロジェクト」などの気運醸成事業を実施していく。 また、持続可能な社会の実現に向け、使用済小型家電等から抽出した金属で大会メダルを制作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」（組織委員会主催）に協力するため、都庁舎等で回収を行っている。</p> <p>8 レガシー 東京 2020 大会のレガシーには、競技施設や選手村の後利用等のハード面と、スポーツへの関心の高まり、文化振興等のソフト面があり、分野も多岐に渡る。都は、2020 年のその先を見据え、価値あるレガシーを残すための取組を「2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」として取りまとめ、公表した。</p> <p>9 被災地復興支援 東京 2020 大会招致の際に、東日本大震災からの復興を目標として掲げ、平成 26 年 7 月に設置された、都、組織委員会、被災県等で構成される「被災地復興支援連絡協議会」において今後の復興支援の取り組みを進めている。 スポーツを通じて元気を取り戻しつつある東北や熊本の姿を世界の方々に知ってもらうための映像を制作し、平昌 2018 大会のジャパンハウス等で上映し、国内外に向けて広く発信している。</p>															
今後の見通し	平成 31 年 7 月～平成 32 年 4 月 テストイベント（予定） 平成 32 年 7 月～9 月 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 競技会場や選手村などの大会関連施設について、着実に整備を進めていく。 ボランティア、輸送、セキュリティなど、運営面についても着実に準備を進めていく。 東京 2020 大会を成功に導くため、庁内各局、組織委員会及び関係団体と連携し、大会開催気運の醸成を図るとともに、大会準備を着実に進めていく。															
問い合わせ先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="464 1429 1098 1509"> オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 総務課 </td> <td data-bbox="1098 1429 1185 1509"> 電話 </td> <td data-bbox="1185 1429 1508 1509"> 03-5388-2217 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1509 1098 1588"> オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 企画調整課 </td> <td data-bbox="1098 1509 1185 1588"> 電話 </td> <td data-bbox="1185 1509 1508 1588"> 03-5388-7836 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1588 1098 1666"> オリンピック・パラリンピック準備局 計画推進部 調整課 </td> <td data-bbox="1098 1588 1185 1666"> 電話 </td> <td data-bbox="1185 1588 1508 1666"> 03-5388-2873 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1666 1098 1744"> オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部 調整課 </td> <td data-bbox="1098 1666 1185 1744"> 電話 </td> <td data-bbox="1185 1666 1508 1744"> 03-5388-2218 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1744 1098 1816"> オリンピック・パラリンピック準備局 大会施設部 調整課 </td> <td data-bbox="1098 1744 1185 1816"> 電話 </td> <td data-bbox="1185 1744 1508 1816"> 03-5388-2179 </td> </tr> </table>	オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 総務課	電話	03-5388-2217	オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 企画調整課	電話	03-5388-7836	オリンピック・パラリンピック準備局 計画推進部 調整課	電話	03-5388-2873	オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部 調整課	電話	03-5388-2218	オリンピック・パラリンピック準備局 大会施設部 調整課	電話	03-5388-2179
オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 総務課	電話	03-5388-2217														
オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 企画調整課	電話	03-5388-7836														
オリンピック・パラリンピック準備局 計画推進部 調整課	電話	03-5388-2873														
オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部 調整課	電話	03-5388-2218														
オリンピック・パラリンピック準備局 大会施設部 調整課	電話	03-5388-2179														